

教科と色の結びつき

—教科のイメージする色の影響—

熊本県立大津高等学校 1年 芸術・創作系ゼミ

要約

教科（国・数・英）と聞いてイメージした色を身近な人に聞き込み、色によって起こるイメージの影響について考えた。

1 研究の概要

教科のイメージする色はなぜ、「国語はあか」「数学はあお」という概念があるのか疑問に思った。人それぞれ教科のイメージする色が違うのかを知りたいと思った。また、その色を「使う／イメージ」する意味・理由を知りたかった。

2 方法

①周りの友達や家族などに「国語」「数学」「英語」の3つの教科でイメージするカラーをインタビューした。

②なぜこの色を選んだのかを友達と話し合っ情報聞き出したり、自分自身でしっかり考えた。

③インターネットで色に込められた意味を調べた。

3 結果

家族・友達への聞き込み結果は以下の通り

Q1 「国・数・英のイメージする色は？」

A 私	家族・友達
国語→赤	国語→赤・緑（黄緑）
数学→青	数学→青（水色）
英語→黄	英語→黄・ピンク・オレンジ

自分と他者の結果を比較すると、色の系統は似ているが、少し違った。理由を聞くと「なんとなく」この色の印象があるからという返答が大多数だった。

Q2 なぜこんなにも違いが出るのか

学校指定のノートや教科書などの色がその色だったまたは色の力がもつ影響があるのかについて再度聞き込みをし、調べてみた。結果は、イメージした色は教科書やノートの色の人が多かった。しかし、聞き込みを行った中でも当てはまらない人もいた。

Q3 色に込められた意味

（国・赤系統）
力強い感情・愛情→物語の登場人物の感情を読む教科

（数・青系統）
冷静・理性的・知性→理論的な中身の教科
（英・ピンク系統）
華やか・明るい→外交的な印象の教科

を連想させる。

4 考察

仮説として、教科のイメージする色はみんな共通しているものだろう思っていたが、予想と全然違っていた。また、教科のイメージや色の影響については、教科と色の意味が合致していることが多かったので関連性があると思った。

5 今後の展望

この研究での課題点は、聞き込みの幅を広げ多くの人にアンケート調査ができればいいと思った。教科と色の繋がりだけでなく、他の物と色の繋がりがあるのではないかと考えた。